

会議録

日 時	平成29年12月18日(月)18時30分～19時30分
会 場	北広島市役所1階 多目的室4
出席委員	渡邊会長、福与副会長、柳田委員、数納委員、成田委員、中山委員
欠席委員	西澤委員、堀委員、斉藤委員、重山委員
市出席者	千葉子育て支援室長、記内児童家庭課主査、葛西児童家庭課主事、 金田児童家庭課主事
傍聴者	1名

- 会長 ただいまから平成29年度第2回北広島市子どもの権利推進委員会を開催いたします。事務局から報告をお願いします。
- 事務局 (資料1に沿って説明)
- 会長 はい、ありがとうございます。子どもに関する実態意識調査の実施結果についての報告を受けましたが何かご質問がありましたらお願いします。C委員、お願いいたします。
- C委員 アンケートの回収率が前回よりも約10%低くなっていますが原因についてお願いします。
- 会長 事務局お願い致します。
- 事務局 回収率については、無作為で調査の対象者を抽出している関係上、対象者によって回答にご協力いただける場合といただけない場合があるのかと思います。前回調査と今回調査では、回収率の誤差が大きいところではありますが、こちらでは把握が出来ていない状況です。
- 事務局 補足致します。今回本市でこの意識調査をしましたが、この調査に限らず札幌や北海道で似たような貧困関係の調査をやっておりますが、札幌市とかも回収率は、30から40ぐらいと多少低いのが現状でございます。
子どもに対して調査していますが、実際は保護者の方が見ておそらく「書きなさい」ということでやられていると思います。ですから、子どもプラス保護者の方の意識や考えなども回答率には多少含んでいると感じております。
- 会長 C委員、よろしいですか。ほかにご意見はないですか。A委員お願いします。
- A委員 先ほどの参考ですが、学校評価の保護者アンケートをとる時期と重なっているため、「面倒くさい…」と思うかもしれないですね。調査の分量も多いので、少し時期をずらせば回収率がよくなるかと思います。

会議録

- 事務局 今後、同様の子どもと保護者に調査等がある場合は、他の調査がないかを教育委員会等に確認した上で、なるべく回収率が上がるような方策を考えていきたいと思います。
- 会長 ほかにご意見はありませんか。
(委員等質問等なし)
それでは日程3番目の「第2次北広島市子どもの権利に関する推進計画(案)」を事務局からお願いいたします。
- 事務局 (資料2に沿って説明)
- 会長 ありがとうございます。今、事務局から説明がありましたように1期目の平成27年からの3年を踏まえて課題がはっきりと調査の中で見えてきたということで、新しく2期目の課題というところまで出させていただきました。
児童福祉法の改正でかなり変わったところもあると思いますし、それから新規事業で、行っていくということも説明があったのではないかと思います。
これらについて、皆さんのほうからご意見あったらお願いいたします。
- 事務局 今回第2回子どもの権利推進委員会ということで、素案を皆さんにいろいろご意見をいただきまして、この後、年が明けましたら1月にパブリックコメントということで、市民の皆さんにも、この素案を公表しましてご意見をいただく期間を1か月近く持ちまして、その後で意見を見まして案を修正する必要がある、修正して第3回目の委員会を開催し、そこで計画を市が最終的には決定しますが、委員の皆さんから最終的に意見をいただく場を設けまして、意見を答申ということで市長へあげる予定としております。
- 会長 今、事務局から説明がありましたが、今日意見がなければ第3回目の委員会、2月にあるということですので、そのときに最終的な意見として計画の中に進めていきたいという話でしたけれども、何かご意見があればお聴かせいただければと思います。B委員、お願いします。
- B委員 子ども夢チャレンジというのを聞いたことがあったのですがけれども、実際に行っている夢チャレンジというのは、子どもが何をしたい、何の先生に習いたいといった希望を出して行う。
- 事務局 子どもにそういった公募をかけます。たくさん公募が来ますので、それを先行委員会のようなところで中身を精査して、「この夢を叶えさせましょう」と

会議録

いい形で決めます。その中身に対してお金もかかりますので、市で予算をつけて夢を叶えるための何かをするという事業となっております。

- B委員 具体的に、お子さんから何をしてみたいという公募がありましたか。
- 事務局 バリスタやスポーツ選手、芸術家、職人さんとかもですし、そういった夢を叶えるためのステップになればと考えております。
- B委員 市から、夢を叶えてみたいけどどうすればいいか、どんな人に教えてもらえばいいか、どういう研究をしたらいいかというのを、提案してもらえるのですか。
- 事務局 はい。提案もしております。今年でいくと、3件採用されたなかで12月23日に報告会が芸術文化ホールであります。1件目は、日本酒の杜氏になりたいという夢については酒蔵体験ということで、引き受けてくださる酒蔵を探したり、あとは宇宙開発に携わりたいということについて、北海道大学の研究所やJAXAの東京事務所や筑波へ行く機会を設けたりしています。また、落語家になりたいという夢をお持ちのお子さんは、浅草の演芸ホールに行って、いろいろな落語家さんからお話を聞いたり稽古をつけてもらって、北広島で老人福祉施設で披露会みたいなものをやる機会を設けてもらったりなど市を通して行っている事業となります。
- B委員 教育委員会での夢ノートの関係で夢をもっているのは大事なことだと思います。子どもは、なかなか家庭で提案が出来ていなかったり仕組みがわからなくてチャレンジができないことが多いので、市で行ってくれるということは、子どもに夢をあたえてくれているので良いと思います。ありがとうございます。
- 会長 副会長お願いします。
- 副会長 私も子ども夢チャレンジに関連したことですが、新聞で読んだときに、「子ども夢チャレンジがとても子どもの夢を伸ばしていける企画だな」ととてもいいなと思いました。ぜひそういう子どもが自分から将来のことを考えて、自分の意見を言って、それに向かって進むという機会がどんどん増えていったら良いなと思います。
- 事務局 ありがとうございます。
- 会長 A委員、お願いします。

会議録

- A委員 子ども夢チャレンジは、事前に「こういう夢があります」といった作文発表みたいなものがありますよね。私の認識でいえばまず学校で子どもたちに夢を描いてもらい、そこから精査し、選び、そして夢を叶えるという形ですよね。そのことを説明しないとよくわからない人もいます。
- 事務局 今おっしゃったとおり学校を通して、子どもたちにこういう事業があるというところで公募をかけているのですけれども、おっしゃるとおりもともと子どもたちが胸に抱えていた夢を、自分なりに文章とか絵に書いたりなど表現をして、プレゼンみたいな形で大人の前で発表して、それで最終的には今年度は3件が認められたというような形になっております。
- 会長 ほかに、よろしいですか。C委員、お願いします。
- C委員 先日、夢プラザで市の中学校の生徒が集まって、その各学校で例えばLINEやインターネットの弊害、悪影響などについての取り組みについて発表がありました。その中で、各中学校の取り組みを皆さんで発表して、それに伴って意見の交換もすることがあったのですが、非常に建設的な取り組みだと思いました。ですから、そういうような意見の交換の場や取り組みの意見の交換・参考にするような場をもっと作ったほうが良いのかなと感じがしました。ですから、その所も含めてここに意見交換の機会を提供と支援というふうに書いていますけれども、それがどれに当てはまるかわかりませんが、そういう機会は大変優れているなと思いましたので、意見として言わせていただきました。
- 事務局 今言われました意見ですが、32ページにあります部分なのですけれども、今言われたとおり、そういう子ども同士での意見交換などは非常に大切であるので今回新たに子ども会議の開催で、今までも子どもの意見を聞きましようという理念の中で、今の計画の中でもあるのですけれどもなかなか具体的な部分が示されておらず現実的に、実行されてなかったということがございますことから、今回あえてこの子ども会議の開催というのを載せました。ここ数年間の議会の中でも子どもの意見を聞くことは大切だというご意見もいただいていることから、一度にたくさんやるのは難しいですけれども、徐々にそういう機会を市と教育委員会が、積極的にそういう機会を設ける場を設定していきたいと考えております。
- C委員 今言われたようにテーマをある程度絞って行うというのはとても有効だなと今回感じたものですから意見として言わせていただきました。

会議録

- 会長 ほかに何かご意見ありませんか。B委員。
- B委員 いろいろ公民館祭りや公民館で開催する事業の内容などが書いてあったのですけれども、私もそうなのですが、札幌や苫小牧から転勤で来た時にお便りで公民館の事業はみるのですが、一体どこにあるのかがわからなくて、ゲーグルで見て行けたのですけれども、結局公民館のそばに行っても看板もなければ矢印もなかったのので、何か案内板を、設けていただくと小学生でも行きやすいのかなと思いますので、検討していただければと思います。
- 事務局 その件については、市に対する全体的なご意見ということで、伺います。
- 会長 A委員お願いいたします。
- A委員 要望ですが、先ほどの子ども夢チャレンジや子ども会議は大変素晴らしいものだと思うのですけれども、例えば所管が企画課だったり、児童家庭課だったり、学校教育課との調整がとれていない感じがします。やはり課が違っても事業に子どもが参加するに当たってはその学校でどんな行事があるのかを押さえて日程調整をしていただきたいなと思います。
- 事務局 わかりました。小学校・中学校もたくさんございますし、今言われたとおり市の中でどのセクションが沢山ございまして、その中でいろんな事業をやっているのですけれども、あえて子どもに関する部分についてはどこかが集約するって言ったらかおかしいですが、スケジュール間や先ほどのアンケートも含めまして、重なったりしないように、いつどこで何がやっているかということが役所の人間、教育委員会の人間が見てわかるような、システムづくりというのが必要かと思っておりますので、大変参考にさせていただきたいと思っております。
- 事務局 今回新たに新規ということで載せた部分で、18ページの子供の貧困対策ということで、全国的に国も子どもの貧困対策というのを進めてございまして、北海道や札幌市も、この調査を今年度、昨年度から行っています。札幌市は昨年度初めて取り組んで小さい市町村ではまだあまり取り組んでないのですけれども、この辺については、市としても、事態がどのようなものかというのを正直言ってとらえてないところが大きいので、貧困世帯においては「どういう子どもが生活をしているか」や「どういう食生活をしているか」など、そういう部位を含めて平成30年度に調査をして、その調査の結果に基づいて、どういう対策を自治体としてやっていくことができるのかということをするために、来年度以降の市の実施計画の推進計画の中で、取り上げていきたいということで今、進めようと思っているところでございますので、あえてこの部分は

会議録

子どもの権利の推進計画にも、載せさせていただきたいということで新たに加えた部分でございます。

○会長 ほかに何かありませんか。よろしいですか。それでは、事務局から何か連絡事項ありますか。

○事務局 一応この素案をベースとして、パブリックコメントを行いますけれども、パブリックコメントまでにまだ日数がございますので、委員の皆さんにおかれましては、もしお帰りになってからここをちょっとというのがございましたらまだご意見等もお受けいたしますし、我々もまだ誤字脱字も含めて再度もう一回複数の人数でチェックをしてまいりたいと思います。

また、今日欠席されている委員の方もおりますことから欠席された委員の方にもご意見があれば伺いたいと考えております。

パブリックコメントにつきましては、1月4日から1か月間実施し、意見はすぐ集約されますので、その意見の中身を見まして、この案に修正する必要がある意見がある場合は修正した中で第3回目の委員会を2月に招集いたします。第3回目の委員会でこの案を最終的に固めていきたいと考えております。以上でございます。

○会長 事務局から3月の計画策定までの大まかな日程と流れについて説明していただきました。皆さんよろしいですか。ほかに何か連絡等ありますか。

○事務局 今申し上げましたスケジュールにつきましては、資料3に掲載しておりますので、次回の日程につきましては、また改めて早めに調整させていただいてご連絡いたしますので、よろしく願いいたします。

○会長 ほかになければ、終わりたいと思いますけどよろしいですか。

○会長 これで第2回目の北広島市子ども権利推進委員会終わらせていただきます。ありがとうございました。